

抗 MRSA 薬投与に対する薬物血中濃度測定率

自院

指標の意義

抗 MRSA 薬投与時に有効血中濃度の維持や副作用の抑制、耐性化の回避のために治療薬物モニタリング (TDM) が有効です。

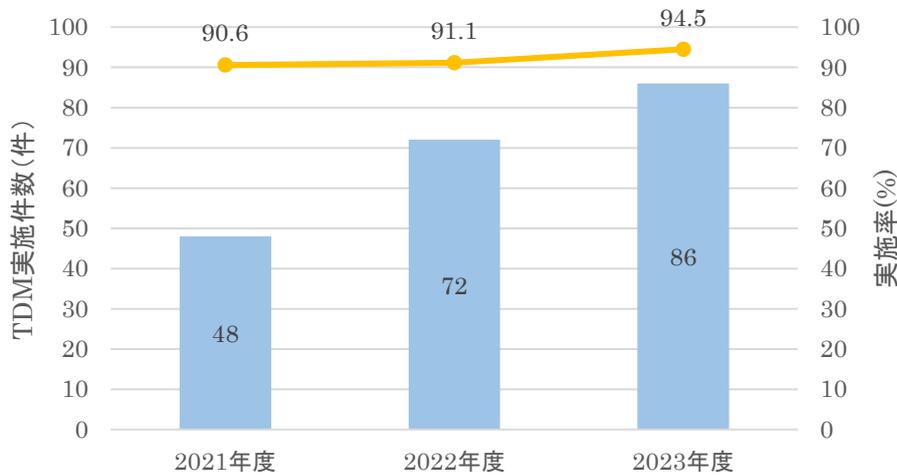
定義

分子 分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例数 × 100

分母 TDM を行うべき抗 MRSA 薬を 4 日以上投与された症例数

当院の実績

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
TDM 実施患者数	48	72	86
投与開始患者数	53	79	91
TDM 実施率(%)	90.6	91.1	94.5



指標の説明

当院では適切なタイミングで感染症治療の最適化が実現できるように、病棟専任薬剤師と ICT/AST が協力し感染症治療を支援しています。

経年的に TDM 実施件数は増加し、TDM 実施率も向上しています。2023 年度下半期に抗 MRSA 薬の血中濃度を病院内で検査できる体制を整備したことが実施率の向上に寄与している可能性があります。